

報告：原発問題をめぐる全体状況

＠第 75 回脱原発八千代ネットワーク定例会

2018 年 11 月 24 日 川井康郎

1. フクシマの状況

- (1) 浪江町民約 1.5 万人が慰謝料の増額を求めている ADR 交渉が打ち切られた問題に関して弁護団は 11/27 に福島地裁に提訴予定。東電は和解を拒否し、国は傍観。
- (2) 10/25 国連人権理事会は日本政府による避難解除基準 20mSv/年を子供や出産年齢の女性に対しては 1mSv/年まで下げるべきと報告
- (3) 福島の除染作業に多くの外国人「技能実習生」が低賃金で従事している実態が、入管難民法改定を巡る国会議論の中で次第に明らかになっている。

2. 原子力規制と再稼働の動き

- (1) 現在の稼働原発は 8 基（大飯③④、高浜④、玄海③④、川内①②、伊方③）。
- (2) 11/15 高松高裁は伊方原発の運転差し止め抗告審にて住民側の申立を却下。主理由は規制基準の合理性と危険の切迫性に対する社会通念。
- (3) 11/21 原子力規制委員会は関電の美浜、高浜、大飯の三原発について大山噴火の場合の火山灰量の評価見直しを決めた。関電は降灰厚さ 10cm としているが、京都に約 8 万年前の 30cm の火山灰層あり。
- (4) 東海第二を巡る動き
 - ・ 11/7 原子力規制委は 40 年を超える運転延長を認可
 - ・ 共同通信による 30km 圏内の自治体首長アンケートでは稼働に賛成 1、反対 5、どちらとも言えない 9
 - ・ 10/31 水戸市は千葉県内の 6 市と住民避難協定を締結。約 4 万 4 千人の避難者受入れを予定（八千代市は除外）
- (5) 11/1 柏崎刈羽原発敷地内の地下通路内でケーブル火災発生。連絡不備により消防隊の現場到着が 1 時間半も遅れた。



3. その他のトピックス

- (1) 11/21 衆院文部科学委員会は原子力損害賠償法（原賠法）のマイナーな改定案を可決。野党による現状 1200 億円の賠償額（電力会社に用意を義務付ける額）の引き上げ案は否決。福島の実験は全く生かされていない。

<以上>